環境技術実証モデル事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野 実証申請書

申請者は以下の申請書を提出してください。特に*のついた欄は実証対象技術の選定において重要な情報であるため、必ず記入してください。

【申請者】

企業名*			印
住 所*	₸		
担当者所属・氏名*			
連絡先*	TEL:	FAX:	
建 給元	e-mail:		
技術・製品の名称*			

1. 自社による試験結果

項目			単位	測定値
		流入量日変動	流量 (m³/h)	
	流入量*	日平均流入量	流量 (m³/h)	
		日最大流入量	流量 (m³/h)	
		流出量日変動	流量 (m³/ h)	
	流出量*	日平均流出量	流量 (m³/ h)	
		日最大流出量	流量 (m³/ h)	
	»II	流入		
	pН	流出		
		流入	mg/I	
	BOD	流出	mg/I	
	BOD	除去率	%	
		容積負荷	kg/m³• 日	
		流入	mg/I	
	COD	流出	mg/I	
	СОД	除去率	%	
		容積負荷	kg/m³• 日	
水質	SS	流入	mg/I	
質		流出	mg/I	
		除去率	%	
		容積負荷	kg/m³• 日	
	n-HEX	流入	mg/I	
		流出	mg/I	
		除去率	%	
		容積負荷	kg/m³• 日	
	()	流入	()	
		流出	()	
		除去率	%	
		容積負荷	kg/m³・日	

項目	単位	測定值 <u>等</u>
発生汚泥量*	kg/日	
廃棄物発生量	kg/日	
悪臭・騒音の発生可能性		
電力等消費量	kWh/日	
()	kg/日	
排水処理薬品使用量*() kg/日	
括弧内は薬品名 ()	kg/日	
(kg/日	
その他消耗品使用量 ()	kg/日	
括弧内は消耗品名 ()	kg/日	
測定責任者*		EP
測定年月日* 平成 年	月 日	

2. 製品データ(技術仕様については添付書類にて提出のこと)

項目		記入欄
実証対象機器名*		
	型番	
製	造企業名*	
	TEL	() -
連絡先*	Web アドレス	http://
建稻九	E-mail	@
	FAX	() -
	W (mm)	
サイズ*	D (mm)	
	H (mm)	
重	量(kg)*	
前処理、後処理の必要性*		なし ・ あり (具体的に

項目			記入欄		
付帯設備*	なし あり				
実証対象機器寿命*					
コスト概算 イニシャルコスト費目例: 土木費、建設費、設備費用等 ランニングコスト費目例: 排水処理薬品、消耗品、汚泥・廃棄物処理費、電力使用料等	ラン	費目 ニシャルコスト ニュー・ニングコスト(月間)	単価	数量	計
		円 / 処理水量 1m³			

3. 運転及び維持管理に必要な管理項目と管理時間・頻度

管理項目 「排水処理薬品の補充」 「汚泥・廃棄物処理」 「定期点検」等を記入	一回あたりの 管理時間		管理頻度 月・週・日のいずれかに 括弧内に回数を記入			
	() 分	(月・週・日)に	() 🛽		
	() 分	(月・週・日)に	()回		
	() 分	(月・週・日)に	()回		
	() 分	(月・週・日)に	() 🛽		
	()分	(月・週・日)に	() 🛭		
	() 分	(月・週・日)に	()		

4. 開発状況・納入実績

もっとも近い番号に をつけてください。

- 1. 試作機は作成可能だが、製品化にはいたっていない。
- 2. 既に製品化しており、製品として出荷できる。
- 3.納入実績がある。



「具体的に

5. 技術の先進性について

技術の先進性、特許・実用新案等の申請・取得状況、論文発表、受賞歴等を記入してください。

6. 希望する実証試験実施場所

7. その他 (特記すべき事項)

1				

【本申請書に添付する書類】

技術・製品の技術仕様書 運転及び維持管理マニュアル

ただし運転及び維持管理マニュアルとは、以下の情報を含むものとする:

- 実証対象機器の設置・立ち上げ
- 運転及び維持管理
- 緊急停止後の運転再開
- 構成部品の校正と交換
- トラブルシューティング
- 予備部品
- 運転と環境の最適化
- 条件変化に対する耐久性